

第2号様式の3

令和7年度第3回法務省総合評価委員会審議概要

開催日時及び場所	令和8年3月16日(月)15:15~16:15 法務省共用会議室3(大臣官房施設課旧入札室)	
委員	只木 誠 (大学教授) ※委員長 黒澤 正明 (公益社団法人監事) 遠藤 和義 (大学教授)	
審議対象期間	令和7年8月1日から令和7年11月30日まで	
【工事】		(備考)
抽出対象案件	総件数 2件	
類 型	技術提案評価型 S型	1件
	施工能力評価型 I型	1件
	施工能力評価型 II型(一般タイプ)	0件
	施工能力評価 II型(小規模タイプ)	0件
	【業務】	
抽出対象案件	総件数 0件	
類 型	標準	0件
	簡易	0件
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 具申又は勧告の内容	具申又は勧告	回答
	なし	なし

別 紙

意 見 ・ 質 問	回 答
<p><b>1 総合評価落札方式の実施状況について</b> 総合評価の実施件数が少ないのではないかと。</p> <p><b>2 抽出案件の審議</b></p> <p><b>(1) 広島法務総合研修寮（仮称）新営（建築）第1期工事</b> 総合評価落札方式を導入した趣旨からして、入札参加者が総じて少なく、発注者としては参加者がいるだけでもありがたいという昨今の状況に鑑みると、その必要性や効果に疑問を抱かざるを得ない状況である。参加しやすい条件を担保するために、難易度の高い提案項目や類例のない提案項目を設定することが難しい状況であることは理解するとしても、本件のように複数の業者が技術提案で満点を取ることが続くようであれば、総合評価落札方式として十分機能しているとはいえないので、提案項目については工夫が必要である。</p> <p><b>(2) 広島法務総合研修寮（仮称）新営（電気設備）第1期工事</b> 本件では、総合評価項目の加算点の高い者が2回目の入札を辞退したため、加算点の低い者が落札することとなったが、仮に2回目に2者が同じ金額で入札していたとしたら、総合評価における加算点が高い方が落札できたということか。</p>	<p>本省発注工事で一定額以上の案件は、原則として総合評価落札方式で発注しているが、不落随契となる案件及び不調・不落の案件があるため、契約実績としては少なくなっている。</p> <p>その点引き続き努力して参りたい。</p> <p>御認識のとおり。</p>